

<b>科目名</b>	商業科教育法	<b>科目コード</b>	1308	<b>単位数</b>	2
<b>担当者名</b>	高橋 秀幸	<b>開講セメスター</b>	第6セメスター	<b>開講年次</b>	3年次

● **授業のねらい**

教科「商業」の科目について学習指導案を作成し、教材研究を行い、情報機器活用した授業を行う力を身につける。また、高校へ訪問し、実際の授業を見学し、指導方法の工夫などを学び、自らの学習指導法の構築につなげていく。

● **到達目標**

- 1.基本科目の学習指導案を作成し、教材研究を行い、授業を実践する力を身につける。
- 2.効果的な授業方法について、学外での授業観察を通して実践的に学ぶ。
- 3.商業（ビジネス）教育の意義と必要性は何かを探究する。

● **授業内容**

- 1週目 オリエンテーション，学外授業観察の準備： 授業観察の概要説明，観察の視点整理，授業記録の方法
- 2週目 学外授業観察(1) 高校を訪問して実施（2講連続）
- 3週目 学外授業観察(2)
- 4週目 学外授業観察のふりかえりと分析，商業に関する課外活動について
- 5週目 魅力的な授業を目指した工夫（教員の姿勢や生徒の意欲向上，協同的な学び等），先進的な指導事例
- 6週目 教科商業における様々な学習指導法 アクティブラーニングや情報機器活用など
- 7週目 学習指導案の作成と情報機器を活用した教材研究(1) 基本事項の確認
- 8週目 学習指導案の作成と情報機器を活用した教材研究(2) 学習指導案作成演習
- 9週目 学習指導案の作成と情報機器を活用した教材研究(3) 教材作成演習
- 10週目 模擬授業実践と授業改善に向けての検討(1)
- 11週目 模擬授業実践と授業改善に向けての検討(2)
- 12週目 模擬授業実践と授業改善に向けての検討(3)
- 13週目 模擬授業実践と授業改善に向けての検討(4)
- 14週目 教科商業における教育実践と今後の課題（議論）
- 15週目 レポート発表（プレゼンテーション），到達度チェック
- 16週目 全体のまとめと整理。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

事前に学習指導要領解説や資料等を読んでくること。また、模擬授業実践に向けて学習指導案作成や教材作成が必要となる。さらに、新聞に目を通し実際のビジネス活動に興味関心をもち、商業科目とどのようにつながっているのかを確認すること。

● **成績評価の方法・基準**

- 課題レポートおよび模擬授業（40%）
- 到達度チェック（60%）

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

模擬授業の進め方は、受講者と調整の上、決定する。簿記検定など指導上に必要な検定試験を積極的に受験すること（簿記3級以上を必ず取得すること）。また、講義は休まないように心がけ、欠席・遅刻時は必ず事前に連絡すること。講義内で各自のパソコンやスマートフォンを使用する場面がある。本講義は、「商業科教育法」を履修している学生が対象となる。

● **テキスト**

文部科学省『高等学校学習指導要領解説商業編』 2019年版使用予定  
 模擬授業を行う科目の教科書（各自で準備すること）

● **参考書**

日本商業教育学会編『教職必修最新商業科教育法新訂版』（実教出版）2011年 2,376円  
 模擬授業を行う科目の教科書は各自で購入すること。

● **更新日付**

2019/03/14 02:49